

五 一二 受信 〇七〇〇 開始 一〇七四一 譯了 一一〇五 電 〇五八六九

昭和廿五年五月拾貳日 航作 概本



横領取圖概報着信處所

機密第一一一七三一號電

横領取圖概報 (五月十日)

一 敵 〇一 二四 一機ハ列島線ニ沿ヒ北上 一〇〇頃房線南端ニ達シ野島 埼銚子間海岸線ヲ往復低空哨戒ノ後 一一五〇頃野島崎附近ニ於テ漁船 ヲ攻撃シ南方ニ脱去セリ

二 横空 取圖機 二機ヲ以テ之ヲ攻撃セルモ戦果ヲシ

三 被害 漁船 三隻銃撃ヲ受ケタルモ被害輕微

(五月十一日)

一 敵 〇一 二四 一機列島線ニ沿ヒ北上シ 〇九二四頃ヨリ約三〇分間房線 南部海岸ヲ反覆低高度約五〇〇米ニテ哨戒航行中、機帆船ニ銃撃ヲ加ヘ 通六五七四 呂一〇ヲ十八() 横 浦 片山(松山) (1)

タル後南方ニ退去セリ

三 横空紫電二 三〇二空月光一ヲ以テ之ヲ攻墜セルモ戰果ナシ

三 被撃

機帆船一ヲ撃沈シ其ノ他輕微。

(2)

第 一 二

開始 〇〇九三三

終了 〇九三五

電自 〇〇五八三三

整 作

昭和廿年五月拾貳日



● 東京通信隊

● 千歳丸・大湊工作部

● 共

符

機密第一一八〇六番電 三分ノ二二三

發 大警參謀長

宛 軍務局長

通報 總本總務部長

北方方面輸送強化ノ必要上特設砲艦千歳丸ヲ左ニ依リ改造搭載量二千
立方米ニ増加使用致度

油ヲ本工事(所要時間約二週間)ハ工作部現作業ニ鑑ミ函館船渠ニ依
テ入ットト致度尙ハ纏砲二基ハ當方面防備田亦當シ新設スベキニ五耗

六六四六五八
六四九六九二

天二日分十一(四〇七五〇)大湊 傳時(松山) (1)

聯裝機銃二基ハ供給ノコトニ取計ハレ度

(イ) 二。三番八種砲及架台撤去ニ五耗ニ聯裝機銃二基ヲ艦尾兩舷ニ裝備

ス

(ロ) 一番船艙ヲ暗號書庫區劃トシテ存置ス

(ハ) 二番船艙石炭庫ハ存置前半分ヲ貨物艙トス

(ニ) 三番艙ノ内彈藥庫及揚強機價ヲ撤去貨物艙トス

(ホ) 一番甲板艙(トインデツキ)及二番甲板艙ヲ貨物艙トス

(ヘ) 以上ノ改装ニ伴ヒ不要トナリタル固定「バラトト」ヲ揚陸ス。

一八三

六三三

(2)

昭和廿年五月拾貳日

五 一一 受信〇三三〇七 丁〇四〇五 電〇五十九七 作 區

至 急

佐 隊 隊 各 口

佐 通

大海參一部・海上護衛總口・海軍總司令部



機密第一二一八二二番電 二分ノ二

攻略軍艦波南西諸島作戦輸送

三 第二特攻部隊指揮官ハ前項所定任務ノ外特令スル迄佐隊兵力部署ニ

依ル第四海上護衛司令官ノ任務ヲ繼承續行スベシ。

一 電信課註 本電二分ノ一既配布一

通六四三六

天二日ケ六 (四九一五四) 佐二放

小森 (佐 田)

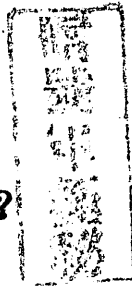
五 一一 受信二一三八 譯了二三〇〇 電〇五七一四 航作 本概〇

至 急

● 阪 警 P

● 東 通。吳 通。鹿屋航空基地・三〇二空

機密第一一一九五番電



發 GF 參謀長

通報 大本營海軍參謀部 第二總軍（吳通信隊） 第十五方面軍（

阪警）

GF 電合作第二五號ニ依ル派遣兵力ハ主トシテ川西航空機工場ノ防
空ニ任ビシムモノト了知アリ度。

通六三八八 呂一Bケ十一（B）GF

相 澤（海土） 軍 谷

電 第十課

4807

五二

受信 〇〇八〇〇三〇二

譯子 〇九二〇 電 〇五八八九

作 概



東京通信隊。聯合艦隊口。高雄通信隊。佐世保通信隊。
石垣島警備隊

機密第一一二〇〇番電

253

宛 高雄警備府長官

通報 a p 參謀長。佐世保鎮守府參謀長

十一日戰團概報

敵艦上機撃機（英國機）艦戰（米國機）延七〇機〇七五五 一〇二五

一五三六 一七一七ノ四次ニ亘リ來襲主トシテ陸海軍飛行場ヲ銃爆

一七一一 PBM 一機東方海面ニ撃撃機搭乗員救助ノ後北東ニ去ル

戰果 撃墜五 撃破一

被害 ナシ。

通六四八六 天二Bケ八（四七〇五）高 瀬 市瀬（増田）

五 一二 綴信 〇八二八 譯了 二三四五 電 〇六一六四 作 概



三〇根戰闘概報着信艦所。先遣部隊P。五航空艦隊P
ヤツブ航空基地。四六警備隊

機密第一一九二七番電 二分ノ一、二

三〇根據地隊戰闘概報(五月十一日)

一 P P 附近行動敵艦艇

(イ) 〇七〇五一 一四二五 輸送船 一 油槽船 一 (何レチ八千噸級滿載)

油槽船 一 (一萬噸級滿載) コスソル水道入港

(ロ) 一三〇〇ウルクタベル島燈臺ノ一八〇度距離三〇軒大型輸送船

國(隻數確認シ得ズ)北東航セルヲ視界不良ノ爲詳細不明

(ハ) 一六一五 大型四小艦艇 一本島東方海面ヲ北上中

三 視界内敵艦艇碇泊状況

(イ) コスソル水道 大型輸送船 一 四 中型輸送船 一 小型輸送船 二 大型油

槽船 五 小艦艇 一〇

六五九八 〇 呂一〇ラ一四(一五七一〇) 三 迫 内山(小)

昭和廿年五月拾參日

(ロ)ヘリユト島周邊掃海艇三艦潜艇六

三、昨十日夕刻時ヨリ本早朝迄夜戦六機本日〇六〇七一七二〇R

四U I T、二〇T B F I、四B I二四、三〇P B Y I

〇四七、一機計五六機P Pニ來襲銃爆撃

四敵機P P P發着 輸送機五機〇度へ二機九〇度へ三機一七〇度

へ一、二七〇度へ發四機〇度ヨリ一〇機九〇度ヨリ一〇機一七

〇度ヨリ三機二七〇度ヨリ着(計一一機發二七機着)

五被害戦死兵一

昭和四年五月拾陸日

五 一二 受信〇〇九三〇 譯了 一一一五 電〇五八八 五 作 概

至 急

東 通、海軍總隊口

高雄警備府 P



海上護衛總口、南西方面艦隊P、一航空艦隊P
支那方面艦隊口、二道支艦隊P、海南警備府P
佐領P、臺灣航空隊、高橋第一分遣隊
東カロリン航空隊

機密第一二二〇三〇番電

二分ノ一

敵機來來狀況(十日)

一、〇八四〇ヨリ一四〇ノ間PB四Y一機B一二五 二機P一三八 三

機南方ヨリ來リ東西海面偵察ノ後南方ニ去ル

三、一一〇〇ヨリ一三四〇ノ間B一二五 五五機P一五一 三機數隊ニ分

レ安平西方ヨリ臺南地區ニ侵入投彈後南下脱去ス

三十一日〇一三〇ヨリ〇四二二ノ間不明機十機本島周邊ヲ偵察内一機臺

北市外ニ投彈南下脱去ス。

電信課呂一Bケ十八(四七〇五KG) 高通 村尾(齋ヒ)

昭和廿五年五月拾陸日

昭和廿年五月拾貳日

五 一二 受信 〇〇七五二〇〇 譯了 〇九三〇 〇五八五三 作 概

至 急

東 通・海 軍 總 司 令 部

高 警 隊



機 密 第 一 一 二 〇 三 〇 番 號

二 分 ノ 二

四 被 害 陸 軍 側 嘉 義 飛 行 場 被 彈 損 害 不 明 民 間 側 臺 北 市 外 家 屋 燒 災 五 五
臺 南 地 區 製 糖 工 場 破 壞 二 砂 糖 倉 庫 一 三 全 燒 家 屋 破 壞 四 七 死 傷 者 二 〇

一 電 信 課 註 本 報 二 分 ノ 一 未 着

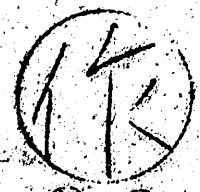
通 六 五 六 六

呂 一 B 七 十 八 (四 七 〇 五 四) 高 通

長 谷 川 (山 中)

昭和四年五月拾貳日

五 一二 受信〇〇七五三八 譯了〇八五〇 電〇五八四二 作概本〇



二〇聯合航空隊 東通・一七一、相模野各航空隊

横 鎮 P

機密第一一二二二三〇番電

通報 第五航空艦隊司令長官 聯合艦隊司令長官 航空本部

機密横鎮信電令作第一一七號

第二十聯合航空隊司令官ハ五航艦機密第一一一〇四五番電ニ依ル整備
員ヲ適宜艦屋航空基地ニ派遣第一七一海軍航空隊飛行練習生日施飛行

整備ニ協力セシムベシ。
一。東通註 本電聯合艦隊「通報濟」

六五六二 呂一Bケ十一 (B) 横通 村山 (岩崎)

2042

257

人

一二三 受信開始 〇〇九〇〇二

譯了 〇二〇〇〇 電 〇六二二三三 作 概 〇(參)

共符



聯合艦隊

機密第一一二一三七番電

照參電第四〇三號 十一日ハラオ特報其ノ一

一三〇〇コスソル狀況左ノ如シ

轉送船(八千噸級吃水淺) 本島南東海面ヲ南北進一六三〇水平線

ニ没セリ

二〇七〇〇一六三〇迄ノコスソル狀況左ノ如シ

出港艦艇經三入泊輸送船一(八千噸級滿載) 油槽船二(一萬噸級

八千噸級各一何レモ滿載)

三一六三〇名スソル狀況左ノ如シ

油槽船一七油槽船五驅艇九其ノ他六(一五七一) 三(一七) 本 覽其ノ二以下

昭和四年五月拾陸日

五 一 二 受信 〇七五〇 譯丁 一三三〇 電 〇五九四九 〇五九五〇 作 概



千島防備部隊戰團概報着信艦所

千島根

機密第一一二三五七番電 四分ノ六三

千防戰團概報第一一八號(五月十一日占守地區)

一次〇六三八沼尻東方敵中型機三超低空ニ發見力ゲノマ附近投彈〇七

一〇東方ニ避退 二次〇八三六更ニ東方B-12四 四機超低空ニ發見

同地區ニ投彈〇八四五北東ニ避退 三次一五〇〇沼尻東方ニB-12四

一二發見 (四分ノ二未着、以下四分ノ三)

在泊艦船全滅ニテ一八一五北東ニ避退

戰果 地上砲火ニ依リ中型一機擊墜 被害 八丈播州丸至近隣ニ依リ浸水愛徳丸室津大火災中川漁場火災

海軍側 戰死四四名、輕傷十四名

陸軍側 調査中 一九三陸潛待務艇銃聲ヲ受ク

通 六六五八八七 天四Bケ三一 本電四分ノ三四未着 長谷川(増田)

昭和廿年五月拾參日

250

五 一二 受信一七五八 始〇七四五 了〇八一九 〇六三二六 作 260(参)

千島防備部隊戰機着信機所 千島方面特根

作

機密第一一二三五七番電 四分ノ二

一五一〇幌延海峽在泊ニ對シ機撃(約五〇發投彈)一五五七東方ニ 避退

四次 一六一五B1二四 七機低空ニテ幌延海峽ニ侵入在泊艦船及

片岡灣地區ヲ銃撃一六三〇北東ニ避退一七四五占守、浮島丸出港

五次 カゲノマ電探一七四六 五五度六〇緯ニ敵機ヲ捕捉B1二五

八機低空ニテ幌延海峽ニ侵入

(電機課註、本電四分ノ一、三、四既配布)

海六六八七 天二Bケ十一(八一五〇E)大湊 片山(特狩)

昭和九年五月拾參日

昭和廿年五月拾參日

五 一二 受信一七五〇五 譯了一八三〇 電〇六〇五八 作 概

● 三 〇 根

● 三〇根戰團概報着信艦所。護衛艦隊P
先遣部隊P

● 四六警備隊・ヤツブ空基地



機密第一二〇八三七番電

警隊機密第一一一九二七番電第一項ノ(ロ)項

大型輸送船團ハ輸送船一二隻(何レモ八千噸級輕船) PP東方海面

ヲ北東航シ一六三〇PPノ北東方海面ニ送ス

通六七七九 呂一Pヲ十四(一五七一〇K)三通 藤井(上野)

五 一二 受領 一二二二六 了 二二〇〇 〇六一六六 〇六一六七

作概 ◎ ()
航本
電需
施本



東通・鎮通
鎮海航空隊

鹿屋航空基地

機密第一二〇九一五番電 二分ノ二

發 第 五 航 空 艦 隊 參 謀 長

宛 軍 令 部 一 二 部 長 航 空 本 部 總 務 部 長 軍 需 局 長 施 設 本 部 長

通 報 第 五 十 一 航 空 廠 長 結 果 當 艦 隊 八 左 基 地 予 概 未 避 退 基 地 卜 シ
朝 鮮 各 基 地 予 實 地 調 査

テ 進 備 出 來 次 第 使 用 ス ル コ ト ニ 定 ヲ ラ レ タ ル ニ 付 其 ノ 促 進 ニ 關 シ 然

ル ベク 取 計 ハ レ 度 尙 航 空 廠 能 力 ノ 急 速 補 充 ハ 時 ニ 重 點 的 ニ 考 慮 ノ 要

アリ ト 認 ム 釜 山 及 迎 日 銀 河 各 三 六 機 ノ 避 退 基 地 龍 津 及 平 津 一 式 臨 政

各 三 六 機 ノ 避 退 基 地 郡 山 及 洞 川 重 爆 隊 各 二 四 機 ノ 避 退 基 地

滴 六 六 九 〇 呂 一 〇 八 十 一 (七 六 四 〇) 航 空 基 地 藤 井 (官 務)

昭和廿年五月拾參日

昭和廿年五月拾參日

五 一二 受信二〇八二〇 譯了二一四四 電〇六一五〇 作 概

鹿屋航空基地



第一機動基地空部隊天號作戰部隊隨着信地所
藤枝航空基地

機密第一二〇九二二番電 二分ノ一

關東航空部隊戰鬥報第一二二號

一、五月十二日、三機索敵攻撃、爲〇四〇〇發進索敵、ト久佐多
脚、一九七度二〇一度二〇五度進出距離一五〇哩内諷訪瀨島、一三
〇度二〇哩敵浮、水艦一隻發見攻撃セル外敵ヲ見ヌ〇七〇〇迄ニ

全機降着

天候曇雲量九雲 七〇〇乃至九〇〇視界二〇哩

電信課註 本電一分ノ二既配布

通六八二二 呂一B(七九七〇KC) 七P(台放) 關線(吉田)

五 一一二

受信 一三二七
譯始 一四五五

譯了 一五四五

電 〇五九七七

作 藤

作

一機動基地

航空部隊

戰術

鹿

屋

空

基

地

藤枝空基地

204

機密第一二〇九二二番電

二分ノ二

二 零戰三機硫黃島黑島間移動哨戒ノ爲〇四三〇發〇六四五全機降着敵ヲ見ズ

三 戰果浮上潜水艦一隻ニ對シ〇五三〇爆撃二五番一至近彈ハ艦首二〇

米) 爆撃敵ハ艦橋ノミ水上ニアリ油多量湧出後方迄帶狀ヲナシアリ

四 被害彗星一機發進直後引返降着失途搭乗員(白井中尉松木一飛曹) 戦死機體大破

《電信課註 本電二分ノ一未着》

通六六七六

呂一Bケ七七(七八七五EG) 一KFGB放大石(島田)

昭和廿年五月拾參日

五
一
二
受信一六四八
譯始〇五四五
譯了〇七〇〇
電〇六二七四
參作
本概〇

三
〇
根



三〇根戰團概報着信艦所
五航空艦隊旗艦・先遣部隊旗艦

機密第一二二一三〇番電

P.P. 附近敵艦船狀況速報 (五月十二日)

一〇七〇〇輸送船一四隻 (乃至八千噸級十三隻五千噸一雙滿載) 油槽船

三 (何レモ一萬噸級滿載) コスソル水道出港〇八四五 P.P. 東方海面北

上中ノ輸送船七隻油槽船八トグリツテル山ノ五五度四〇分ニ於テ合同

北東進

通六七七八
呂一Bラ(四)一五七二〇KO(三)通

佐藤(サイトウ)

昭和四年五月拾參日

昭和廿年五月拾參日

五 一二 受信一七〇〇 譯始一六四〇 譯了一九四五 電〇〇六〇八二 航作概本〇

至 急

支 支那方面艦隊口



● 海南警口

● 東通。聯合艦隊口。三遣支艦隊口

機密第一二二二〇九番電 二分ノ二

通報 大海參一部長 航空本部

戦局ノ推移並ニ貴方面ノ兵力ニ鑑ミ陸上航空基地ハ海口三亞灣ノミト
 シ黄流飛行場ハ速ニ破壊ノコトニ取計ハレ度尙總軍ヨリ陸軍航空地上
 員轉進ニ伴ヒ左記所在航揮ヲ海軍ニ移護ノ上一切今ヨリ通報方等ノ際
 補給並ニ便宜供與ヲ得度旨申入アリタルニ付諒承セリ

記九一揮五四五本九二揮一九〇本鑛油乙二六〇本ヒマシ油二二九本
 (漢那調)

通六八八二二 呂 一九〇五〇五〇(上海) 林(上野)



至急

五 一 二

受信 一七六一六
開始 一七二五六

譯了 一七五五

電 〇六〇五四

作機 〇

佐

鎮

機雷部隊

海上護衛隊・七艦隊・佐世保防備隊

機密第一二一三三六番電

今後ノ對馬海峽敷設ハ繼ネ左ニ依リ敷設適當ト認メアル處貴方ノ腹
案承知致度

一 第二次ノ砲高榮丸搭載機雷ヲガらち丸ニ修メ敷設セシム

二 第三次常燃ニテ敷設ス

三 第四次八成シ得ル限第三次ト併行シ敷設機ニテ敷設狀況許セバ永
城丸復用ス

通六七六七 呂一Bケ十一(九八三〇EC)佐二放 石垣(川崎)

昭和廿年五月拾參日

昭和廿年五月拾參日

五、二 受信一九一〇三 譯了二〇〇〇 電〇六一〇三 航作概本〇

至急



◎ 厚木・第二師團各航空基地
◎ 横濱・航空基地
◎ 東京・通・阪・通・伊丹・鹿屋各航空基地
◎ 横通

機密第一二一四〇二番單

通報 GB 長官 横領長官 大阪警備府長官 大本營海軍部 參一部

一 U F B 信電令作第七一號

第一及第二空挺隊指揮官ハ左ニ依リ GB 電令作第二五號ニ依ル三〇二

空展開輸送ニ協力スベシ

五月十二日厚木發伊丹行第二空挺隊零式輸送機二機（在厚木基地

ノモノヲ宛當ニ第一空挺隊ニ零式輸送機二機

人員四一名物件約四・五班

一六八二〇 天二日ケ一（ B ） 横須賀 志保（淡 津）

2054

五 一一

受信一八七二六譯了一九二一 電〇六〇九八 作 概

至 急

鹿屋空基地

作

一機動基地航空部隊天戰團概報着信艦所

機密第一二一四五三番電

二分ノ一

天戰團概報(十二日一一〇〇)

十二日彗星夜戰三機ヲ以テ佐多岬一九七度一三〇七度間進出距離

一五〇湮ノ黎明索敵攻撃ヲ實施諏訪瀬島ノ一三〇度二〇湮ニテ浮

上潜水艦一ヲ發見攻撃(二五番一)至近彈(水柱二〇本)ニ依リ

油多量漏出後方迄帶狀ニ引クヲ認ム。

電信課註 本電二分ノ二未着

通六七九六

呂一Bケ七(七八七五KC)一FGB放

奥野(上野)

昭和廿年五月拾參日

269

人

五 一二 受信一七四八 譯了一九五五 電〇六一二七 作 稿

譯始一八五〇

至 急

鹿 屋 航 空 基 地

一機動基地航空部隊戰鬥機報告信區所

54

機密第一二一四五三番

セルモ敵ヲ認メズ

二十六日零夜戦三機確黄島黒島間黎明移動暗戒セルモ敵ヲ認メズ

三十二日〇六〇五敵巡洋艦一隻 應逐艦五隻 掃海艇四隻 寶島特設

見張所ノ二〇廣二十五新附近掃海中ノ報ヲ一一三〇接受直ニ偵察機

三機發見爆戦七機ヲ以ツテ索敵攻撃ヲ企圖セルモ偵察機寶島ノ五〇

海圖中ヲ認メズ攻撃ヲ取止ム

一機動基地 本電二ノ一既配布

通六八一 天一日ケ七(七九七〇KC)七〇GB放 永野(機) 澤

昭和廿五年五月拾参日

人

五 一二 受信一九四九 譯了二〇二一 電〇六二二九八 作 綴〇

作戰緊急

東

通・鹿屋空軍地

吳

嶺

戸

機密第一二一五五八番電二分ノ二三

総隊長官 総長 大臣

戦間概報（五月十一日）

一、B-12九 七機〇八一〇佐伯空ニ來襲戦果ナシ被害廳舎小破

戦死五重輕傷八

二、B-12九 一七機〇八〇二及〇八〇十 十二空隊ニ來襲本廠地

區ニ九機高城地區ニ八機投擲セリ 詳細調査中

三、B-12九約二〇機一四五六足摺崎附近ニ投擲シタル後豊後水道

通六八四六、六八五二、ロ一B、ケ十一（B）吳

丸山・片山（鈴 三）

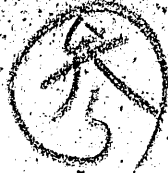
昭和廿年五月拾參日

271

南口附近ヨリ脱去セルモノノ如シ

四 B-129 三機偵察又ハ偵察攻撃ス

單機ニテ豊間本府管内ニ來襲吳北東ノ山中徳島縣南東部及高知
航空隊附近ニ投彈セリ



五 一三 受信〇八四五 開始一三五一 丁一四二一 電〇六四二〇 作標〇

聯合艦隊

英 符

機密第一二一六〇四番電

照會書第四〇六號

一三日ハラ才艦其ノ一

〇五〇〇一〇八〇〇迄ノコスル狀況左ノ如シ

出港船六隻(一萬噸級一隻八千噸級一噸集内一八甲板上舟艇一

隻ヲ搭載六千噸級一隻何レモ油槽船三隻(一萬噸級一隻

八千噸級二隻内一八甲板上飛行機五一六内一八舟艇四隻ヲ搭載何レモ

油槽船二隻舟艇二隻曳船八隻入泊輸送船一隻(八千噸級滿載) 艦

油槽二隻

船七〇九三 日一Bヲ十四(一五七)〇E(三三) 德原(久保田)

昭和廿年五月拾四日

277

作戰緊急

五 一二・受信一九四〇 譯了二一五五 電 〇〇六六一四四五 作概〇

總無線艦所用共通符號

聯合艦隊口・三五各航空艦隊口

大海參一部

密第一二一六三五番電 三分ノ六二三

内南洋方面部隊戰術概報特一三編(十二日)

一 彩霞一機(三木大尉機)〇六三〇發一〇二五一〇三五PU偵察
一四一〇 着目視狀況左ノ通(高度九〇〇〇)米天候晴視界五〇浬

(一) 在泊艦船 A二一 B二二 戰艦三(アイオワ型) キング・ジ
ヨ一ジ型一 不詳一(大巡一 特空母一(カサブランカ型) 中型約四〇
油槽船大型一〇 浮船渠中型二 小型上陸用舟艇約一三〇 D

通六八三三・六八四三 呂一B々十一(一七六三〇)四通
六八五〇 村山・條原・仲榮真(飯田) (一)

昭和廿年五月拾參日

二四 且二五 F二六 輸送船大型約五〇隻 油槽船大型約二〇隻
F二六 驅逐

艦七 驅逐艦母艦五 潜水艦一 浮トツク大型二 G二七

輸送船約二〇隻 LST二港内小型舟艇ノ運航活潑

(四) 出港中ノ艦船フラスラ島ノ東約五哩ニ大型輸送船二 驅逐艦一

針路南 速力一五節

(三) 入港中ノ艦船フハエスノ北約一五哩ニ輸送船六隻 驅逐艦三隻

針路西 速力八節フラスラ島ノ北東約七哩敵輸送船二隻 驅

逐艦一隻 速力一二節

(四) 哨戒艦艇フハエスノ北約三〇哩ニ二隻 針路東 速力一二節フラス

ラツフ島南西約二哩ニ二隻南東約二哩ニ一隻

(五) 小型機六機 上空哨戒機三機

二、寫真判讀ノ結果後報

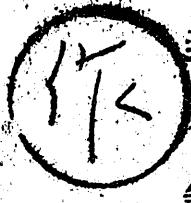
三、明日再偵察ノ豫定

大

五 一 三 受信 〇〇六一六 譯了 〇六四〇 電自 〇六三三一 整 基

譯始 〇六一〇六

至 急



東通・鹿屋・宮崎各航空基地・舞通

美保航空基地

機密第一二一七四六番電 四分ノ一三四

發 新川基地指揮官

通報 舞鶴鎮守府參謀長・航空本部總務部長

新川基地現況報告（五月十二日）

不現狀（完成豫定）

(1) 滑走路一五〇〇米鋪裝完了兩側各三〇米外裝ノ所（内側十米）磁石

混入ノ五月末主誘導路同體（附屬）中型改裝機用二六ノ五月二十五日通信

送別（送三打五）（本電四分ノ二未着以下四分ノ三）迄ハ訓練ニ不適

通 六九九五五
六九九七五

呂一日ケ十一（三八二〇KG）鹿屋空基地 藤井・仲井・坂本（酒卷）

昭和廿年五月拾四日

274

ナルヲ以テ當分ノ間美保ニ於テ訓練實施ヲ可ク認ム（攻勢第四〇六
飛行隊長ト同意見）

(a) 基地用車輛皆無ニシテ任務遂行ニ支障特ニ誘導路ハ當分ノ間自力
走不安ニ付トラクターノ急送ヲ要ス

(b) 當基地ハ單一ナル滑走路ニシテ速ニ第二新川ノ造成ヲ要スルモ資材
並ニ鐵道輸送力ノ關係上第一新川完成（八月末）以前着手困難ニシ
テ滑走路ノ造成ニ約七月ヲ要スル見込。

（へ）電信課註

本電四分ノ二未着

人

五 一三十一受信〇〇三五三
 譯始〇四〇二二
 至 急
 四 譯了〇六五〇
 電〇六七九七
 整 基

昭和廿年五月拾四日

美保航空基地

東京、舞鶴各通信隊・鹿屋、宮崎各航空基地

機密第一二一七四六番電 四分ノ二

五月二十日完成ノ豫定宿舍ノ施設（内一四〇〇民家分宿）

(ロ)燃料九一八七航空揮發油各五〇〇好五月十五日以後逐次到着ノ見

込津倉瀬回廊及東側縮体地區各種附屬本施設八月末迄ニ完成ノ豫定

三所見

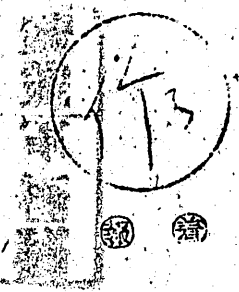
(イ)五月二十五日以後飛行機（約四〇機）ノ收容可能ニシテ美保基地派遣隊現狀ニ鑑ミ速ニ銀河隊ノ當基地移動ヲ可トスルモ回廊完成。

（一）電 通信課註
 本電誤字多ク電照ノ為遅延
 本電四分ノ三、四既配布

通七〇二五 呂一〇ケ十一（B）舞通 日野原（酒巻）

五 一二 受信二〇〇四五
開始二〇〇二五
了 一二〇〇 電 〇六一七六
緊 急 共 符

昭和廿五年五月拾參日



東 通・聯合艦隊P・構 通・
小笠原部隊指揮官
機密第一二一七五三番電

發着信者 南島島守備部隊
機密司令長官 司令部次長 參謀次長

受着者 第十六潜水隊司令 第七五二航空隊司令

戦闘詳報(十一日)

二(イ) 一一四五B 一二四 一機上空偵察 〇四三〇頃B 一二四 一〇機來

襲四機ハ北海岸ヨリ西海岸ハ一〇機ハ隱發彈多數ヲ五機ハ中央ヨ

リB 一二九 B 一二四ハ主トシテ時限爆彈ヲ何レモ雲隙ヨリ投下

一機ハ投彈三機

通六八七三 〇一〇ラ十八() 一機通 丸山(齋ト)

(1)

(A) 浮上潜水艦一隻 〇六二五ヨリ〇七〇九迄約二五〇〇米附近一

二四九ヨリ一三四八迄附近ヲ遊弋一三八〇〇米迄近接

二發射彈數戦車ヲシ

三機密戰時送信用電源所一直線ハ貫通ヤズ一陸軍自動車炎上。